

特別講義のお知らせ/ Special Lecture

エレナ・コスチューコヴィチ

Elena Kostyukovich / Елена Костюкович

ミラノ在住ロシア人作家・翻訳家

Adaptation – Transformation – Translation – Systematization:

How the Translation of Umberto Eco's *The Name of the Rose* Led me to the Study of the History of Italian Cuisine.

翻案—変形—翻訳—体系化

ウンベルト・エーコ『薔薇の名前』の翻訳のために、私はいかにイタリア料理史を研究するようになったか



日時 2014年11月10日(月) 午後4時40分～6時20分

November 10, 2014 4:40pm–6:20pm

場所 東京大学文学部(本郷キャンパス)法文1号館2階219番教室

VENUE: Faculty of Law and Letter Bldg, No.1, Room 219

Hongo Campus, The University of Tokyo

7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033

住所: 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 / 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

交通: 地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷3丁目」、南北線「東大前」などから徒歩10分

* 講義は英語、通訳なし。質疑応答はロシア語・イタリア語も可。事前予約不要です。

The lecture and discussion will be conducted in English without interpretation.

No reservation required.

Organized by the Departments of Slavic Languages and Literatures / Contemporary Literary Studies with help of the grand-in-aid from the JSPS

共催: 科研費「越境と変容—スラヴ・ユーラシア研究の新たなパラダイムを求めて」(代表者 東京大学 沼野充義) / 東京大学文学部現代文芸論研究室・スラヴ語スラヴ文学研究室 / 科研費「芸術表象における変容とオリジナリティ: 創作のストラテジーとしての翻案研究」(代表者 神戸大学 楯岡求美)

問い合わせ先: 東京大学文学部 現代文芸論研究室 Phone 03-5841-7955

講師プロフィール エレーナ・コステューコヴィチ氏はミラノ在住ロシア人作家、翻訳者。文芸エージェントとしてロシアの主要な作家を国際社会で紹介してきた。ウンベルト・エーコの全小説作品、エマヌエーレ・テザウロの論文「アリストテレスの望遠鏡」、その他新旧問わず多くのヨーロッパ文学をロシア語へ翻訳している。著書に、イタリアにおいて食文化が果たす役割を語った『食事 イタリア人の幸福』（2006年）、第2次大戦時から現代のロシアとヨーロッパを交錯する記憶を巡る長編小説『ツヴィンガ一宮殿』（2014年）など。

東京大学(本郷キャンパス)構内案内図 (The Faculty of Law and Letters Bldg, No.1)



※ 銀杏並木沿いの入口よりお入りください。

法文1号館は、東京大学（本郷キャンパス）正門から、時計台（安田講堂）に向かって直進、左側二つ目の建物です。219番教室は2階にあります。なお、上図の図書館前の噴水のある場所は現在工事中で通行できませんので、ご注意ください。

Access Map to Hongo Campus

